

最近の河川事業を取り巻く話題

三重河川国道事務所

令和4年10月20日



国土交通省中部地方整備局

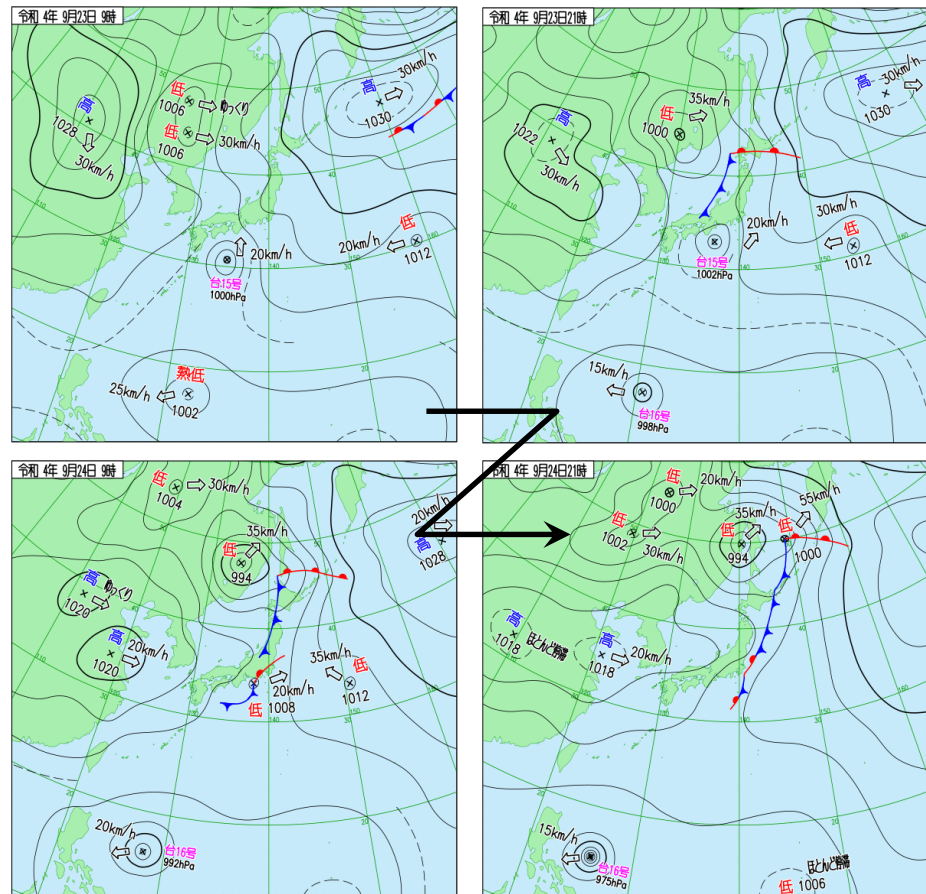
三重河川国道事務所

令和4年の出水状況について

1. 台風第15号に伴う大雨の概要（9月23日～24日）

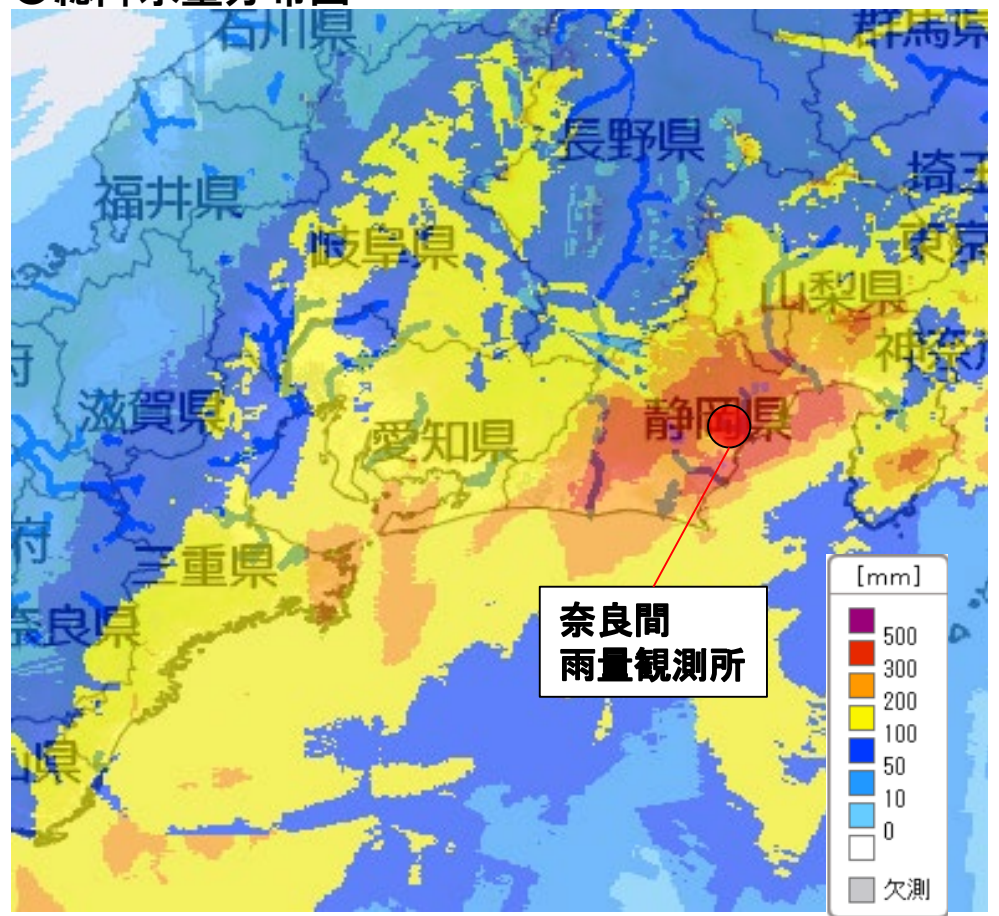
- 台風第15号により、9月23日から24日にかけて日本各地で非常に激しい雨となった。
- 中部地方整備局管内においては、広い範囲で降り始めからの総降水量が200mmを超過。
- また、9月23日から24日にかけて線状降水帯発生情報が3回が発表されました。
- 特に^{あべかわ}安倍川水系、菊川水系では流域で激しい雨となり、安倍川の奈良間雨量観測所にて425mmを観測。

●天気図



(気象庁ウェブサイトより)

●総降水量分布図



9/23 1:00から9/25 7:00までの累加雨量

2. 管内の河川水位・洪水調節状況

- 管内の国管理河川では、安倍川水系安倍川、菊川水系菊川及び支川牛淵川で氾濫危険水位を超過し、雲出川水系波瀬川で避難判断水位を超過。
- 管内のダムでは、大井川水系、庄内川水系、木曾川水系の4ダムで洪水調節を実施。

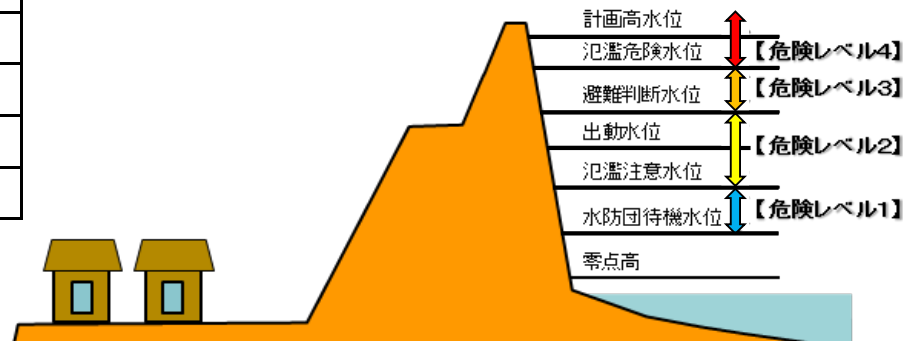
【水位状況】

水系名	河川名	観測所名	今回最高水位	水防団待機水位	氾濫注意水位	出動水位	避難判断水位	氾濫危険水位	計画高水位
安倍川	安倍川	牛妻	9/24 1:40 3.31	2.20	3.00	3.70	4.10	4.60	5.51
		手越	9/24 2:10 4.23	1.50	2.40	3.00	3.40	4.00	4.82
	蕨科川	奈良間	9/24 1:50 5.04	2.30	3.70	4.70	6.40	7.70	8.02
大井川	大井川	細島	9/23 4:20 2.30	1.30	1.70	2.20	2.70	3.30	4.99
菊川	菊川	加茂	9/23 22:10 4.23	1.50	2.50	3.20	3.20	3.50	5.94
		嶺田	9/23 22:50 5.33	2.00	4.30	4.90	-	-	5.94
	牛淵川	横地	9/23 21:40 3.78	1.80	2.10	2.30	2.30	2.70	4.06
		堂山	9/23 22:10 5.39	3.10	4.60	4.90	4.90	5.30	5.86
	下小笠川	川久保	9/23 21:10 2.95	1.40	2.00	2.50	3.00	3.30	-
天竜川	天竜川下流	池田	9/24 3:10 2.33	0.50	1.60	2.60	-	-	4.53
		中ノ町	9/24 3:40 1.95	0.60	1.60	2.50	3.10	3.40	4.77
矢作川	矢作川	岡崎	9/23 23:50 6.41	4.90	5.80	7.50	-	-	10.72
庄内川	庄内川	土岐	9/23 22:00 3.55	2.40	3.00	4.00	4.50	4.70	6.39
雲出川	波瀬川	下川原橋	9/23 14:40 2.34	1.70	2.20	2.20	2.20	3.40	3.49
櫛田川	佐奈川	西山橋	9/23 13:50 2.29	1.60	2.00	2.40	2.70	3.20	3.27

※氾濫注意水位を超過した観測所のみ表記

【ダムの洪水調節状況】 9月29日現在 (水資源機構管理ダム含む(黄書き))

水系	ダム名	最大流入量	最大流入時の放流量	調節量
庄内川	おりがわ 小里川ダム	約95m ³ /s	約40m ³ /s	約55m ³ /s
	ながしま 長島ダム	約998m ³ /s	約918m ³ /s	約80m ³ /s
木曾川	いわや 岩屋ダム	約320m ³ /s	約166m ³ /s	約153m ³ /s
	あぎがわ 阿木川ダム	約144m ³ /s	約118m ³ /s	約25m ³ /s



3. 被災状況(直轄:河川・砂防)

- 台風第15号により安倍川支川藁科川わらしながわ9.0k左岸（静岡市葵区大原地先）において、洗堀による護岸損傷の被災を確認。
- また、安倍川支川八重沢川やえざわがわ（静岡市葵区横山地先）において土石流が発生。堰堤下流の製茶工場が被災。



① 藁科川(静岡市)における被災状況



被災状況



応急復旧工事状況
(9月28日17時時点)

② 八重沢川(静岡市)における被災状況



3. 被災状況(静岡県管理区間:河川)

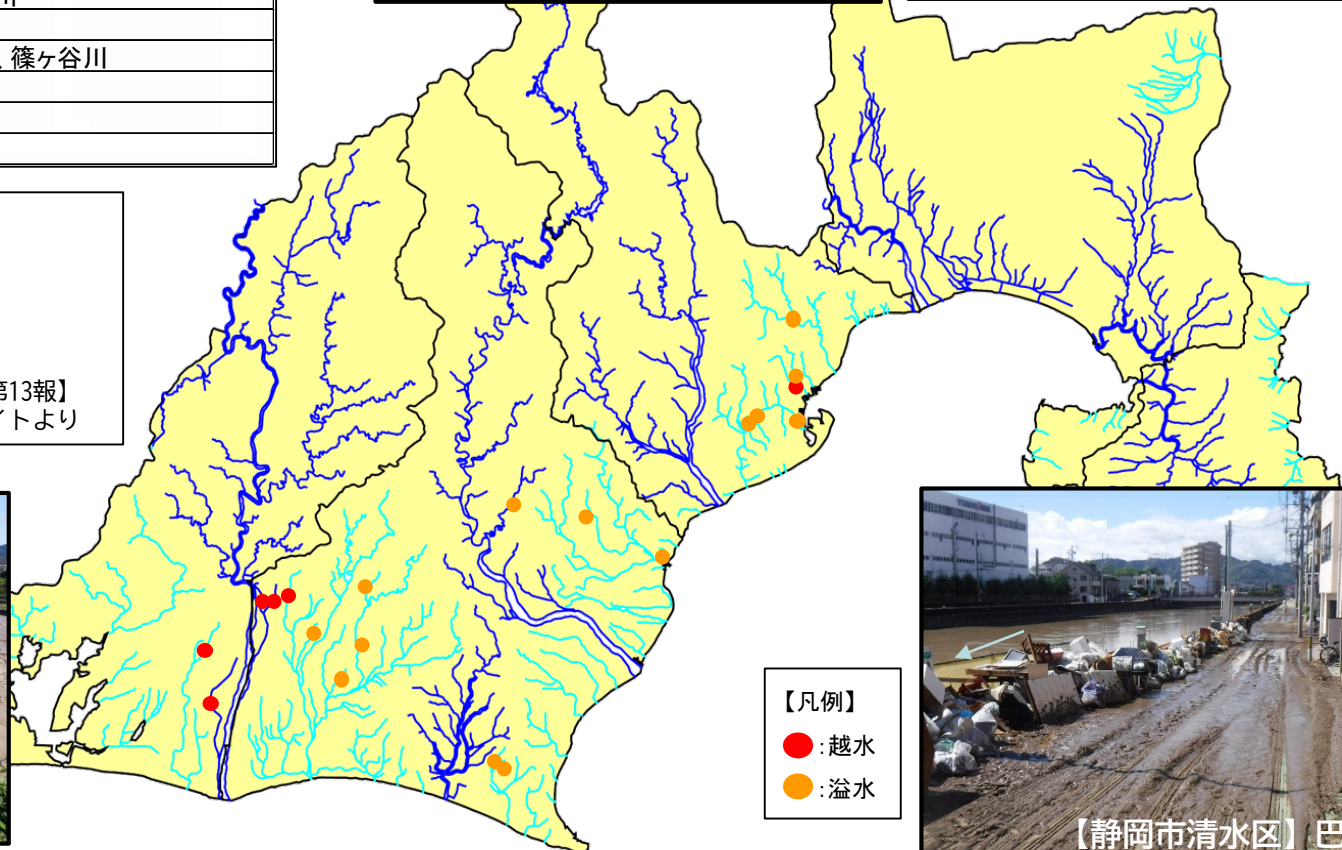
※9月27日 6時時点

主な浸水被害 (※内外水含む) (単位:棟)

番号	市町名	床上	床下	河川名
1	富士市	0	2	
2	静岡市	879	0	巴川、庵原川、興津川 ほか
3	島田市	51	121	伊久美川
4	焼津市	144	109	石脇川、小石川
5	藤枝市	127	66	調査中
6	牧之原市	19	57	調査中
7	吉田町	1	5	調査中
8	川根本町	7	4	調査中
9	浜松市	63	1689	安間川、馬込川
10	磐田市	242	419	一雲済川、上野部川 ほか
11	掛川市	13	8	原野谷川
12	袋井市	105	187	沖之川
13	御前崎市	0	3	新野川、篠ヶ谷川
14	菊川市	4	48	調査中
15	森町	6	41	小薮川
計		1,661	2,759	



静岡県全体
床上浸水：1,661棟
床下浸水：2,759棟
※台風第15号による被害状況について【第13報】
(9月27日8時00分現在) 静岡県Webサイトより



【凡例】
●:越水
●:溢水



4. 自治体等への支援の状況 (リエゾン・ホットライン)

- リエゾン（情報連絡員）を地方公共団体に派遣し、地方公共団体との情報共有を強化するなど防災対応の支援を実施。
- 避難情報の発令にあたり緊急時に市町村長が行う状況判断に役立つよう、各種情報についての解説、今後の見通し等を河川管理者から直接首長などに助言するホットラインも実施。（※3水系3市）
- その他関係自治体に対して、被害状況や支援要請の確認等適宜実施。

※9月27日17時時点

■ 三重河川国道事務所

水系	市町村
雲出川	津市

■ リエゾン

派遣先	延べ人数
静岡県庁	8
静岡市	10
島田市	3
川根本町	3
浜松市	1
掛川市	1
計	26



■ 静岡河川事務所

水系	市町村
安倍川	静岡市

■ 浜松河川国道事務所

水系	市町村
菊川	菊川市

※リエゾンについては整備局からの派遣全体数を集計
※ホットラインについては流域内自治体を集計

- 9月24日～9月26に防災ヘリコプター（まんなか号）による被災状況調査を実施。
- 自治体より排水ポンプ車の支援要請が入り、車両を派遣。（菊川市）
- 今回の大雨に伴う災害支援のため、自治体等からの支援要請に基づき、9月25日より断水支援対応として、災害対策車両 散水車12台（うち給水機能付8台）を派遣。
- その他ペットボトル（飲料水等）を提供。（静岡市・島田市・川根本町）
- 9月25日から順次TEC-FORCE隊員を派遣。（派遣先：静岡市、島田市、川根本町）

※9月27日17時時点

■災害対策車両による支援状況

車両	派遣元	出動数（台）
散水車 （給水装置付）	浜松河川国道事務所	1
	名古屋国道事務所	1
	（関東地整）	4
	（北陸地整）	1
	（近畿地整）	1
		8
散水車	浜松河川国道事務所	1
	名古屋国道事務所	2
	静岡国道事務所	1
		4
派遣車両合計		12

■TEC-FORCEによる活動状況



静岡県との打ち合わせ



林道の陥没状況を調査



ドローン班の活動状況



護岸の侵食状況を調査

水害リスクマップについて

「流域治水」の施策のイメージ

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 集水域
 [国・市、企業、住民]
 雨水貯留浸透施設の整備、
 ため池等の治水利用

流水の貯留

河川区域
 [国・県・市・利水者]
 治水ダム建設・再生、
 利水ダム等において貯留水を
 事前に放流し洪水調節に活用
 [国・県・市]
 土地利用と一体となった遊水
 機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、
 雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
 「粘り強い堤防」を目指した
 堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

**リスクの低いエリアへ誘導／
 住まい方の工夫**
 [国・市、企業、住民]
 土地利用規制、誘導、移転促進、
 不動産取引時の水害リスク情報提供、
 金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす
氾濫域
 [国・県・市]
 二線堤の整備、
 自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 氾濫域
 [国・県]
 水害リスク情報の空白地帯解消、
多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
 [国・県・市]
 長期予測の技術開発、
 リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
 [企業、住民]
 工場や建築物の浸水対策、
 BCPの策定

住まい方の工夫
 [企業、住民]
 不動産取引時の水害リスク情報
 提供、金融商品を通じた浸水対
 策の促進

被災自治体の支援体制充実
 [国・企業]
 官民連携によるTEC-FORCEの
 体制強化

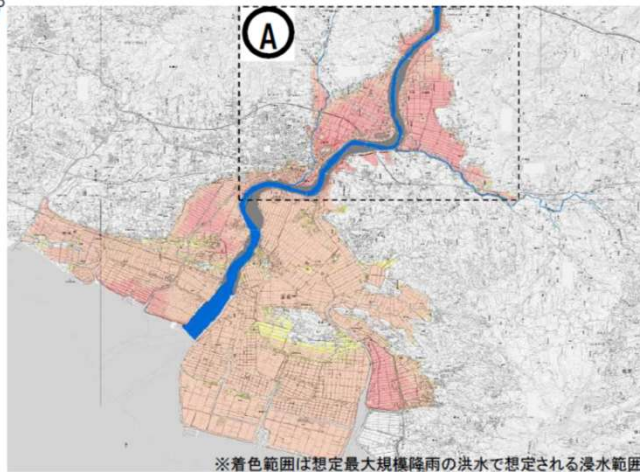
氾濫水を早く排除する
 [国・県・市等]
 排水門等の整備、排水強化

水害リスク情報の充実

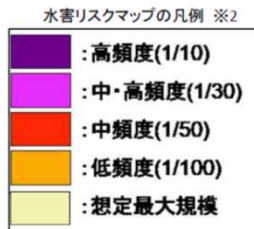
- 従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進。
- 今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ(浸水頻度図)」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進。

水害リスク情報の充実

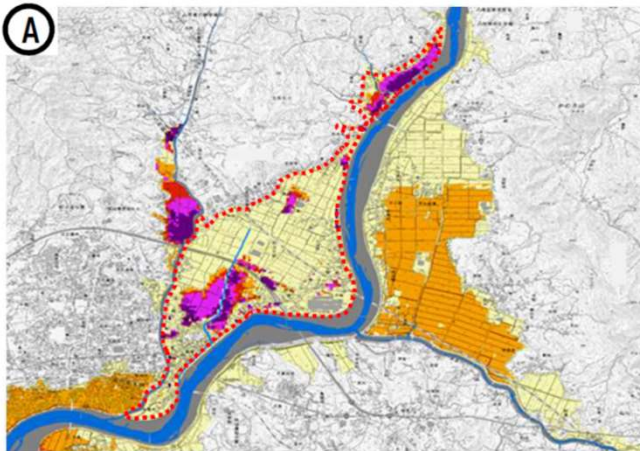
○水害ハザードマップ



○水害リスクマップ^{※1}



※2 上記凡例の()内の数値は確率規模を示していますが、これは例示です。



※1 当資料の水害リスクマップは床上浸水相当(50cm以上)の浸水が発生する範囲を示しています。(暫定版)

水害リスクマップの活用イメージ

現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果を反映した
将来の水害リスクを提示し、以下に取り組む

- 住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進
- 企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

現在(外水氾濫のみ)

整備後(外水氾濫のみ)



【令和4年度の国土交通省としての取組】

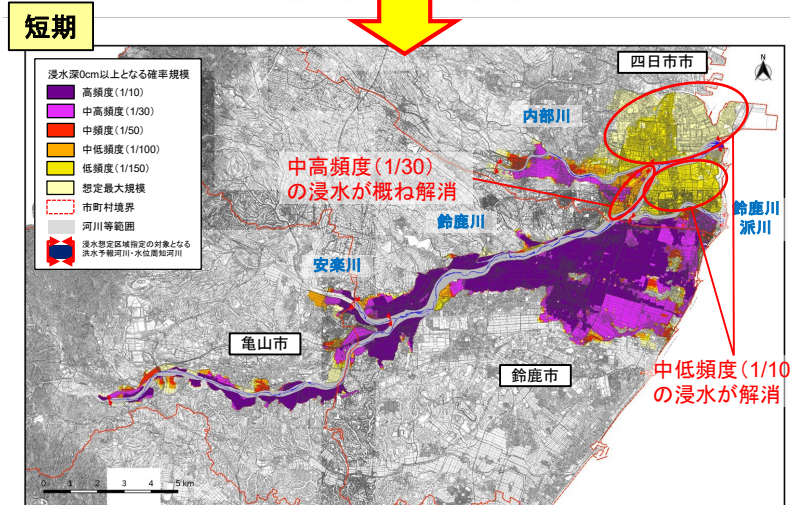
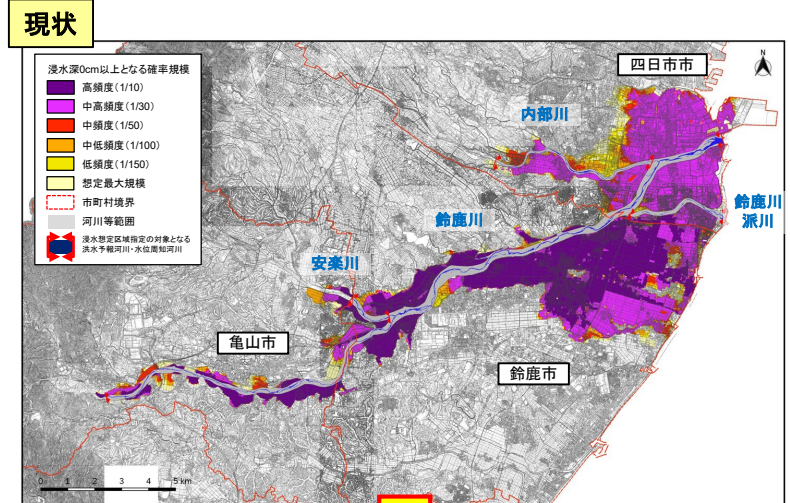
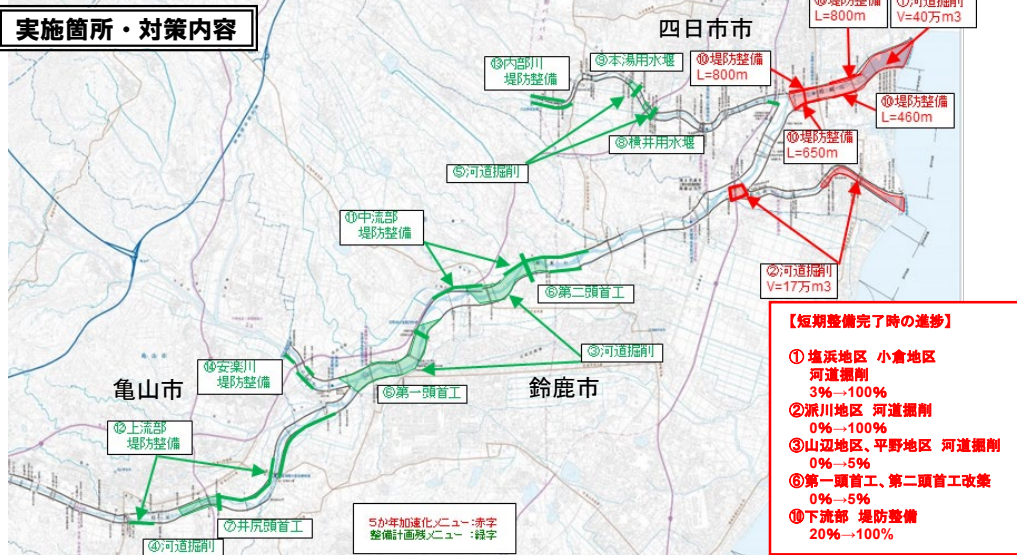
- ・ 全国109の一級水系において、外水氾濫を対象とした水害リスクマップの作成を完了させるとともに、先行して、特定都市河川や水災害リスクを踏まえた防災まちづくりに取り組む地区において、内水も考慮した水害リスクマップを作成

鈴鹿川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～国内有数の産業集積地を守る流域治水対策～

○ 鈴鹿川下流部における河道掘削や堤防整備をR7に完了することで、戦後第2位の平成24年9月洪水と同規模の洪水に対して、四日市市街地を中心とした0k～3k区間において概ねHWL以下で流下させることが可能。

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約54%→約69%



区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R3～R7年度) 1/5 ~ 1/5 (※1)	中期 (R8～R17年度) 1/5 ~ 1/10 (※1)	中長期 (R18～R27年度) 1/10～1/50 (※1)
河道掘削		①塩浜地区 小倉地区	100%		
		②派川地区	100%		
		③山辺地区 平野地区	5%	100%	
		④井尻地区			
頭首工等改築		⑤内部川			100%
		⑥第一頭首工 第二頭首工	5%	100%	
		⑦井尻頭首工			100%
		⑧横井用水堰			100%
		⑨本湯用水堰			100%
堤防整備		⑩下流部	100%		
		⑪中流部		100%	
		⑫上流部			100%
		⑬内部川			100%
		⑭安楽川			100%

- ・ 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。
- ・ また、この確率以下の洪水においても、浸食等により破壊する可能性があります。
- ・ 短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。
- ・ 本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。

※1:この安全度は、下流部における安全度を記載しています。

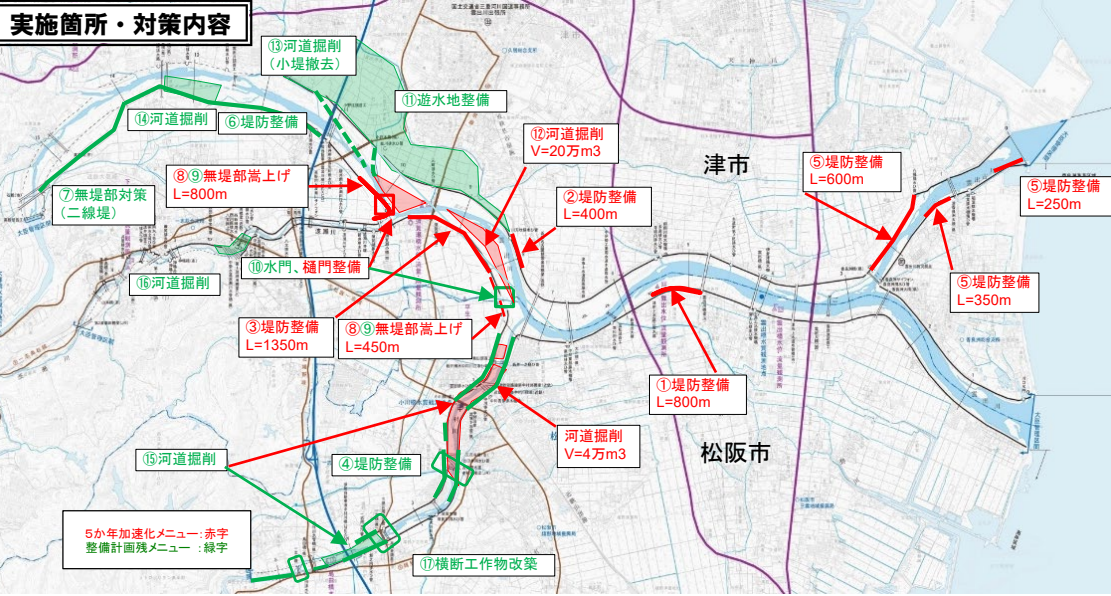
雲出川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

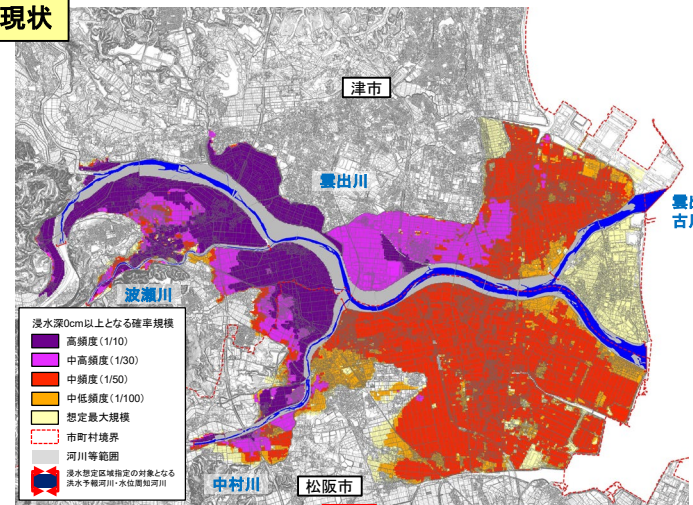
○ 雲出川下流部における河道掘削や堤防整備をR7に完了することで、戦後最大の昭和57年8月洪水と同規模の洪水に対して、中村川合流点より下流部の津・松阪市街地において概ねHWL以下で流下させることが可能。

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約49%→約51%

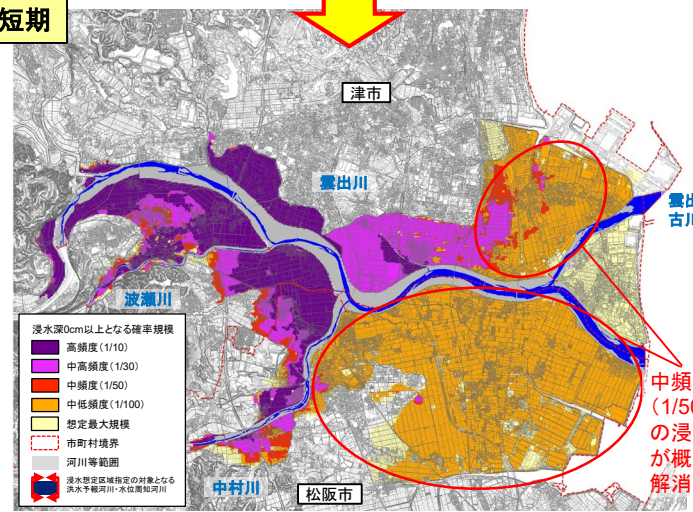
実施箇所・対策内容



現状



短期



区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R3~R7年度) 1/5~1/5	中期 (R8~R18年度) 1/5~1/5	中長期 (R19~R26年度) 1/5~1/5
氾濫をできるだけ防く・減らすための対策	堤防整備	①舞出地区	100%		
		②木造地区	100%		
		③須賀瀬地区		100%	
		④中村川			100%
		⑤高峯・川原地区		100%	
中流部整備 (右岸：堤防嵩上) (左岸：遊水地)	⑥庄村・庄田地区			100%	
	⑦無堤部対策 (二線堤)			100%	
	⑧右岸 無堤部 堤防嵩上 (1)		100%		
	⑨右岸 無堤部 堤防嵩上 (2)			100%	
	⑩右岸 水門・樋門等		30%	100%	
河道掘削	⑪左岸 遊水地		5%	100%	
	⑫須賀瀬地区		100%		
	⑬小戸木地区 (小堤撤去)			100%	
横断工作物改築	⑭上流部			100%	
	⑮中村川		30%	100%	
	⑯波瀬川			100%	
		⑰中村川			100%

【短期整備完了時の進捗】

- ①舞出地区 堤防整備 38%→100%
- ②木造地区 堤防整備 0%→100%
- ⑤高峯・川原地区 堤防整備 0%→100%
- ⑧右岸 無堤部 堤防嵩上 0%→100%
- ⑩右岸 水門・樋門等 0%→30%
- ⑪左岸 遊水地整備 0%→5%
- ⑫須賀瀬地区 河道掘削 0%→100%
- ⑬中村川 河道掘削 0%→100%

・ 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。また、この確率以下の洪水においても、浸食等により破壊する可能性があります。

・ 短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。

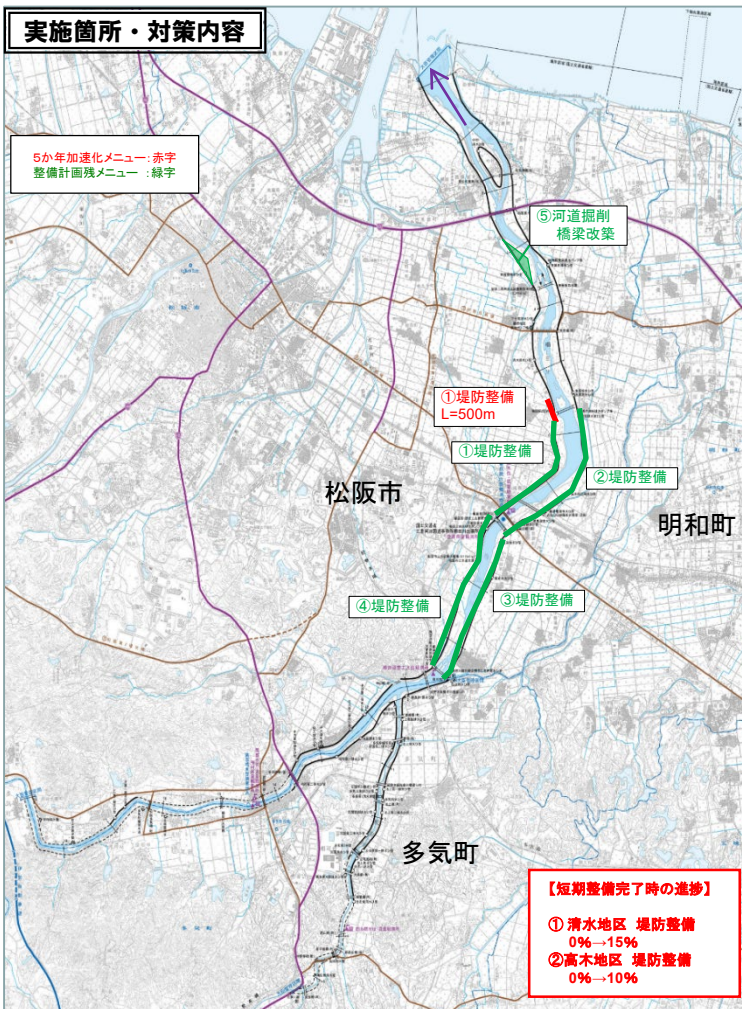
・ 本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。

櫛田川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

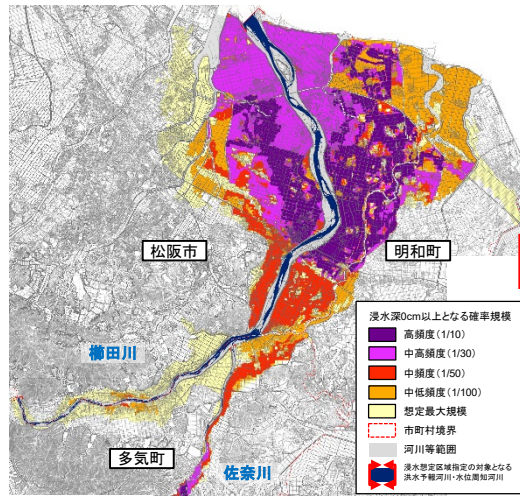
～三重の基幹農業地域を守る流域治水対策～

○ 櫛田川下流部における堤防整備を実施することでR7に、観測史上最大となった平成6年9月洪水と同規模の洪水に対して、下流部の松阪市街地を中心とした地区において概ねHWL以下で流下させることが可能。

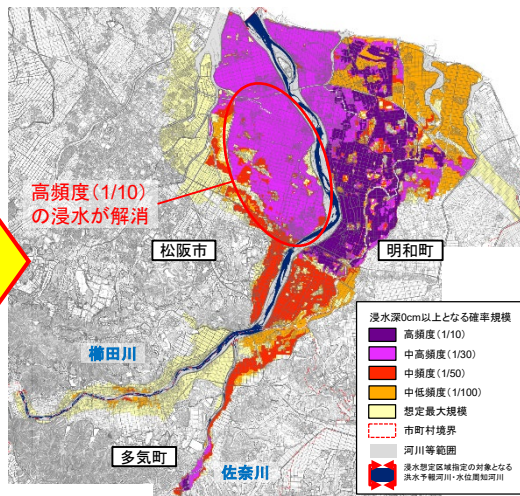
短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約72%→約74%



現状



短期



- ・ 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。
- ・ また、この確率以下の洪水においても、浸食等により破壊する可能性があります。
- ・ 短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。
- ・ 本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。

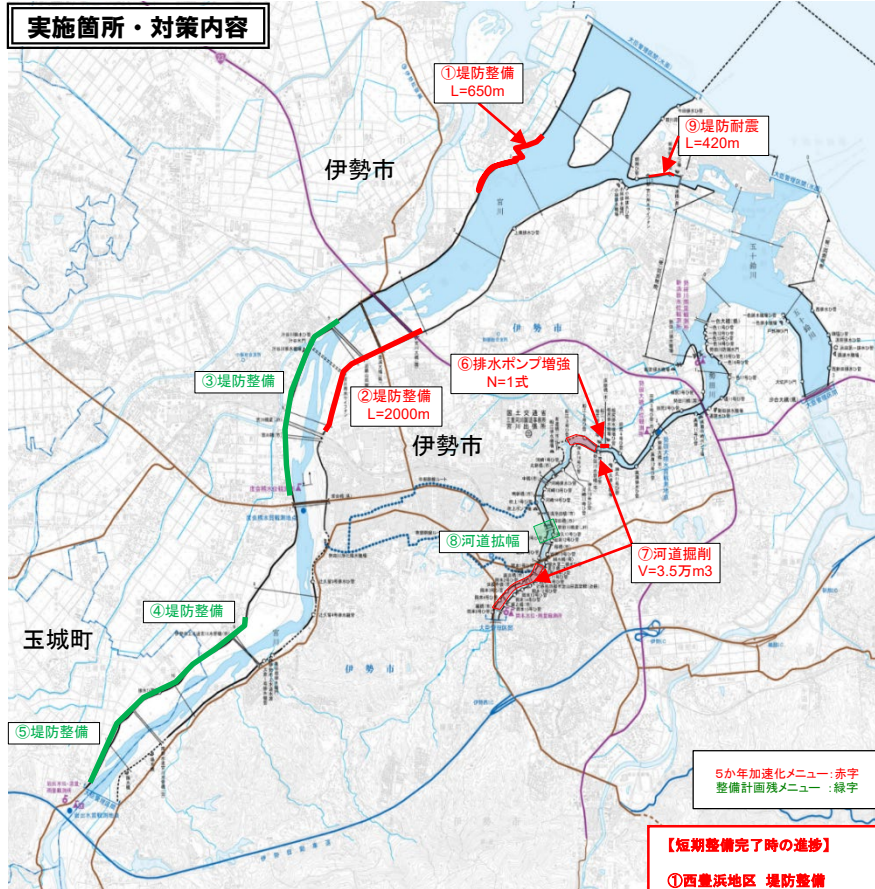
区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R3～R7年度) 1/5～1/5	中期 (R8～R14年度) 1/5～1/10	中長期 (R15～R16年度) 1/10～1/30
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備	①清水地区	15%	100%	
		②高木地区	10%	100%	
		③法田地区			100%
		④山添地区			100%
	河道掘削・橋梁改築	⑤西黒部地区			100%

宮川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～「神宮」の地に暮らす人々の命と観光産業を守る宮川(勢田川)流域治水対策～

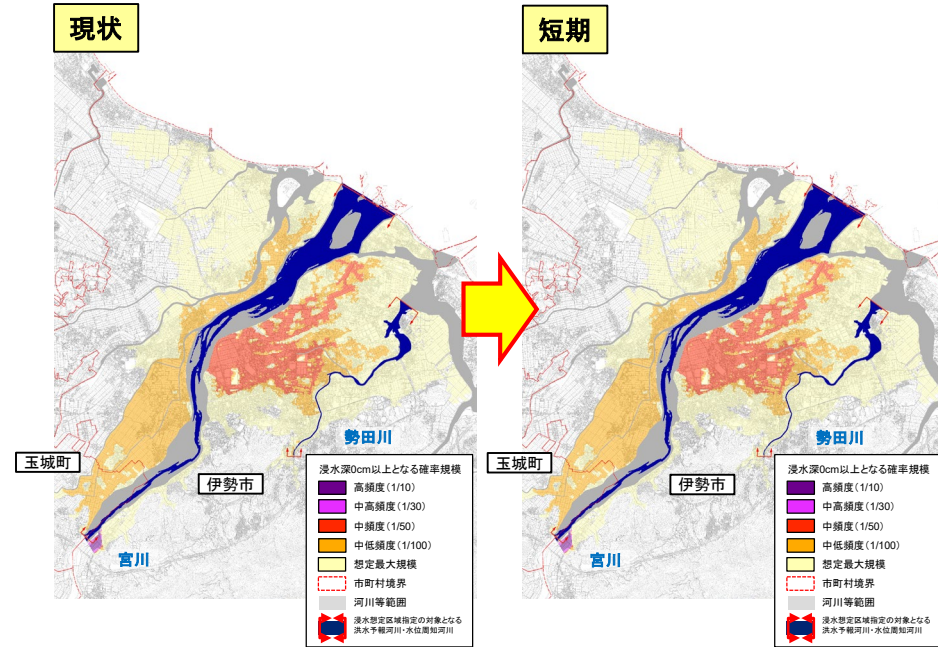
- 勢田川における排水ポンプ増強や河道掘削をR7に完了することで、平成29年10月洪水規模と同規模の洪水に対して、勢田川流域(伊勢市内)の浸水被害を軽減することが可能。
- 大湊川の堤防耐震をR7に完了することで、伊勢市大湊地区における地震時の浸水被害を軽減することが可能。

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約76%→約87%



【短期整備完了時の進捗】

- ①西豊浜地区 堤防整備 38%→60%
- ②御園地区 堤防整備 0%→50%
- ⑥田尻地区 排水ポンプ増強 0%→100%
- ⑦田尻・河崎地区 河道掘削 58%→100%
- ⑨大湊地区 堤防耐震 33%→100%



- ・ 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。また、この確率以下の洪水においても、浸食等により破壊する可能性があります。
- ・ 短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。
- ・ 本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。

区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R3~R7年度) 1/30~1/30	中期 (R8~R14年度) 1/30~1/50	中長期 (R15~R26年度) 1/50~1/50
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備	①西豊浜地区	60%	100%	
		②御園地区	50%	100%	
		③小俣地区		100%	
		④川端地区			100%
		⑤屋田地区			100%
	排水機場ポンプ増強	⑥田尻地区	100%		
	河道掘削	⑦田尻・河崎地区	100%		
	河道拡幅	⑧河崎地区			100%
	堤防耐震	⑨大湊川地区	100%		